

国際航空宇宙展に初の北海道ブース、道内製造業11社が集結

～航空機業界への営業力強化に向けて伴走支援を開始します～

2024年6月25日

(本資料の問い合わせ先)

経済産業省北海道経済産業局 地域経済部 製造・情報産業課

参事官 丹羽 朋子、担当 内藤、野島

電話：011-709-2311（内線2570-2572）

E-mail：bzl-hokkaido-seizojoho@meti.go.jp

要 旨

- 北海道経済産業局は、北海道、室蘭市、（一社）北海道機械工業会、（公財）室蘭テクノセンターとともに、旅客需要の回復を背景として、今後拡大が見込まれる航空機市場への新規参入や販路拡大に意欲的な道内ものづくり企業を支援するため、国内最大級の展示会「**2024国際航空宇宙展**」に初めて**北海道ブースを設置**します。**「BtoBミーティング」にも参加し、航空機業界のバイヤーとの商談機会を通じて販路開拓を支援**します。
- また、展示・商談の効果を最大化するために、参加企業11社を対象として、航空機業界に精通した専門家による**営業力強化に向けた全5回の伴走支援**を行います。
- ついては、**第1回目として、2024年6月28日にキックオフイベント**を開催します。

※本事業は「令和5年度共同・協業販路開拓支援補助金（令和4年度補正 中小企業生産性革命推進事業）」により実施

伴走支援の流れ（概要）

伴走支援 第1回 (キックオフ/6月28日)

- 参加企業の顔合わせと目的やゴールを明確にするためのキックオフイベントを開催
- 取材可
(問い合わせ先へご連絡下さい)

伴走支援 第2～4回 (個社指導/7月中旬～)

- 商談準備に向けて、専門家が訪問やWEB面談により、3回の事前指導を実施
- 取材はご相談下さい。
(企業に取材可否を確認のうえ、調整します)

展示・商談会 (10月16～19日)

- 「2024国際航空宇宙展」、「BtoBミーティング」に道内企業11社が参加
- 取材はご相談下さい。
(企業に取材可否を確認のうえ、調整します)

伴走支援 第5回 (フォローアップ/11月頃)

- 商談成立に向けて、専門家が訪問やWEB面談により、商談案件をフォロー
- 取材はご相談下さい。
(企業に取材可否を確認のうえ、調整します)

展示商談会の概要

2024国際航空宇宙展（JA2024）

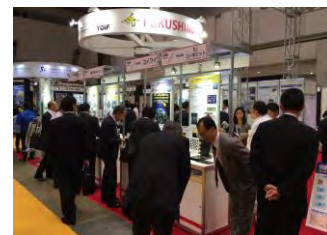
国内外の主要企業、政府機関、大使館関係者、業界関係者が参加し、航空機製造、運行、整備をはじめ、素材、部品、工作機械、計測・検査機器、ソフトウェア、商社、貨物輸送サービスまで幅広い業種の企業が出展する、**航空機分野では国内最大級の展示会「2024国際航空宇宙展(JA2024)」に初めて北海道ブースを設け、道内製造業11社が共同で出展。**また、会期中に開催される「**BtoBミーティング**」にも初の参加。航空機業界のバイヤーとの商談機会を提供することで販路開拓を支援。

【2024国際航空宇宙展（JA2024）】

- 日時 2024年10月16日（水）～19日（土）
- 会場 東京ビッグサイト 西展示棟
- 主催 （一社）日本航空宇宙工業会、(株)東京ビッグサイト
(JA2018実績／520団体、17か国・地域、来場者27,500人、JA2016実績／812団体、31か国・地域、来場者44,500人)

【2024国際航空宇宙展 BtoBミーティング】

- 日時 2024年10月17日（木）～18日（金）
- 主催 advanced business events
(JA2018実績／商談会数1,438回、参加企業137社(15か国)、JA2016実績／商談会数4,457回、参加企業316社(24か国))



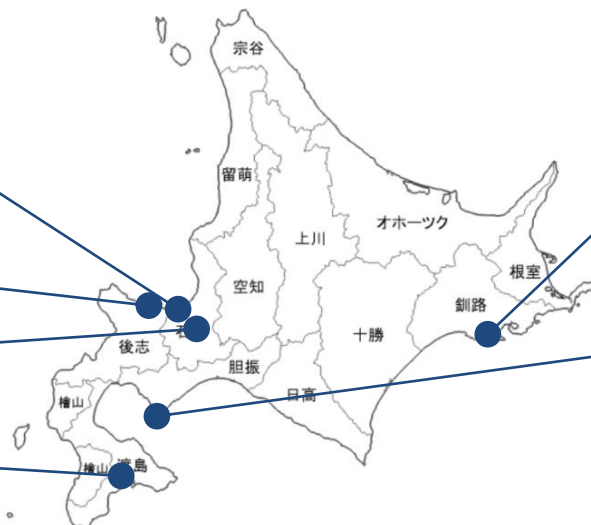
【展示会参加企業（11社）】

札幌エレクトロプレイティング工業(株)[札幌市]（初）
(株)中央ネームプレート製作所[札幌市]（初）

(株)ディ・ビー・シー・システム研究所[小樽市]

(株)ワールド山内[北広島市]

(株)メデック[函館市]（初）



(株)釧路製作所[釧路市]（初）

(株)キメラ[室蘭市]
(株)今野鉄工所[室蘭市]（初）
(株)永澤機械[室蘭市]
(株)西野製作所[室蘭市]（初）
(株)ミヤタ技研工業[室蘭市]（初）

※（初）国際航空宇宙展 初参加企業

伴走支援の概要 ①

伴走支援 第1回 ～キックオフイベント～

航空機業界の最新動向の情報収集と合わせて、参加者の顔合わせや目的・ゴールを明確にし展示商談会に向けた準備をスタートするためのキックオフイベントを開催。

- 日 時 2024年6月28日（金）13:30～16:45
- 会 場 TKP 札幌ホワイトビルカンファレンスセンター カンファレンスルーム4A
（札幌市中央区北4条西7丁目）
- 主 催 北海道経済産業局、北海道、室蘭市、（一社）北海道機械工業会、
（公財）室蘭テクノセンター

➤ 内 容

【第1部】13:30～15:05

講演①

『航空機産業の現状と目指すべき方向性』

経済産業省 製造産業局 航空機部品・素材産業室 室長 西山 正

講演②

『最近の航空機産業の動向』

エアロコーチ 代表 宮 修一 氏

【第2部】15:10～16:45

参加企業自己紹介

事業説明 （一社）北海道機械工業会、（公財）室蘭テクノセンター

（参考）専門家

エアロコーチ

代表 宮 修一氏



富士重工業(株)

（現（株）S U B A R U）航空宇宙カンパニーにて航空機の国際共同開発に従事。退職後は航空専門商社にて海外企業と日本企業の橋渡しに従事。

現在は専門家として国内外企業とのマッチング、国際展示会同行によるハンズオン支援、JISQ9100取得支援などを通じて、航空機業界の発展に尽力。

（支援実績）

- ・あいち・なごやエアロスペースコンソーシアム
- ・（公財）新産業創造研究機構（NIRO）
- ・ひろしま航空機産業振興協議会
- ・栃木航空宇宙懇話会
- ・T-MAN
（Tokyo Metropolitan Aviation Network）

伴走支援の概要 ②

伴走支援 第2回（訪問指導）

実施時期 2024年7月9日～19日（3時間/社）
支援内容 専門家及び事務局が各社を訪問し、面談及び工場見学を実施。航空機業界のバイヤーに対して売り込むべき技術・強みを整理。

（各社）面談を踏まえ、プレゼン資料・展示品を準備

伴走支援 第3回（WEB指導）

実施時期 2024年8月下旬を予定（1.5時間/社）
支援内容 専門家が1社ずつ面談を行いプレゼン資料を確認。商談時に伝えるべき内容の優先順位付けなど、限られた時間でバイヤーの印象に残る資料となるようブラッシュアップ指導を実施。

（各社）プレゼン資料を修正、模擬商談会の準備

伴走支援 第4回（模擬商談会）

実施時期 2024年9月中旬頃を予定（1.5時間/社）
支援内容 ブラッシュアップしたプレゼン資料を使用して、実際の商談会を想定した模擬面談を実施。効果的なプレゼンテーションができるよう実践的指導を実施。

専門家がバイヤーニーズと各社の強み（技術や商材）を踏まえ、最適な商談先をリストアップして各企業に情報提供

2024国際航空宇宙展（JA2024）
2024年10月16～19日

伴走支援 第5回目（事後指導）

実施時期 2024年11月頃を予定（1時間/社）
支援内容 商談の進捗を確認し、商談成立に向けて専門家による案件のフォローを実施

参加企業（認証取得企業）の概要 ①

※五十音順

（株）キメラ



代表者：代表取締役 藤井 徹也

所在地：室蘭市香川町24-16

資本金：2,800万円

従業員：116人

所属クラスター：

- ・北海道航空宇宙ビジネスネットワーク(HAB)
- ・室蘭航空宇宙産業ネットワーク(MAS-NET)

【航空宇宙及び関連分野の取組】

航空機分野では治工具類、宇宙分野ではインターステラテクノロジズ(株)にロケットエンジンに使用する開発部品「インデューサー」を納入した実績がある。航空機分野で必要とされる認証JISQ 9100及び精密加工・難削材加工技術を活かして、航空機関連部品・治工具の受注を目指す。

【これまでの歩み】

2019年1月

航空宇宙事業部を設置

2019年5月

宇宙関連部品を納入

2019年8月

航空関連部品を納入

2020年5月

JISQ9100取得



（株）釧路製作所



代表者：代表取締役 羽島 洋

所在地：釧路市川北町9-19

資本金：10,000万円

従業員：90人

所属クラスター：

- ・北海道航空宇宙ビジネスネットワーク(HAB)

【航空宇宙及び関連分野の取組】

宇宙分野ではインターステラテクノロジズ(株)に「燃焼試験」に関わる設備を納入した実績がある。航空機分野で必要とされる認証JISQ9100及び宇宙分野の実績を活かして、航空機関連部品・治工具の受注を目指す。

【これまでの歩み】

2018年11月

燃焼試験設備を納入

2022年11月

JISQ9100取得

2023年4月

航空宇宙モビリティ
事業室を立上げ



（株）中央ネームプレート製作所



代表者：代表取締役 氏家 利道

所在地：札幌市東区北39条東1丁目

資本金：4,800万円

従業員：120人

所属クラスター：

- ・北海道航空宇宙ビジネスネットワーク(HAB)

【航空宇宙及び関連分野の取組】

航空機分野では航空機内装品大手の(株)ジャムコに「厨房設備や化粧室の部品、航空機内部の部品」を納入した実績がある。これまでの実績に加えて、航空機分野で必要とされる認証JISQ9100及び設計、加工、組立まで、自社一貫製造を活かして受注拡大を目指す。

【これまでの歩み】

2017年11月 航空機マッティング事業に参加

2019年 4月 航空機内装部品を納入

2020年 9月 航空機工場(第六製造課)新設

2024年 5月 JISQ9100取得



参加企業（認証取得企業）の概要 ②

※五十音順

(株)永澤機械



代表者：代表取締役 永澤 優

所在地：室蘭市東町3丁目1-4

資本金：2,600万円

従業員：42人

所属クラスター：

- ・北海道航空宇宙ビジネスネットワーク(HAB)
- ・室蘭航空宇宙産業ネットワーク(MAS-NET)
- ・JANアライアンス（石川県）

【航空宇宙及び関連分野の取組】

航空機分野では国産リージョナルジェットの脚部分に使用する開発部品を納入した実績がある。これまでの実績に加えて、航空機分野で必要とされる認証JISQ9100及び精密加工・難削材加工技術を活かして受注拡大を目指す。

【これまでの歩み】

2016年10月 航空機展示会(JA2016)出展

2019年 2月 航空機部品を納入

2022年 3月 JISQ9100 取得



(株)ワールド山内



代表者：代表取締役 山内 雄矢

所在地：北広島市大曲工業団地
4丁目3-33

資本金：7,000万円

従業員：110人

所属クラスター：

- ・北海道航空宇宙ビジネスネットワーク(HAB)
- ・Sapporo Air Craft Suppliers Club(SACSuC)

【航空宇宙及び関連分野の取組】

名古屋商工会議所主催の航空機エンジン部品加工トライアル2023に北海道から初めて採択され、高評価を受ける。エンジン部品の受注・納入に向けて準備中。航空機分野で必要とされる認証JISQ9100を活かして受注拡大を目指す。

【これまでの歩み】

2022年9月 航空機工場（第5工場）新設

2023年8月 エンジン部品トライアルに採択

2023年9月 JISQ9100 取得



(参考)



航空機分野で必要とされる
認証「JISQ9100」について

航空宇宙防衛産業に特化した品質マネジメントシステムの国際規格。航空機業界において、安全性や信頼性の高い製品を提供するための規格。

【登録件数】

全 国 731件（2023年6月）

北海道 7件（2024年6月）

【認証取得企業（北海道）】 ※五十音順

いすゞエンジン製造北海道(株)

(株)キメラ

(株)釧路製作所

(株)中央ネームプレート製作所

(株)永澤機械

(株)日本製鋼所

(株)ワールド山内

参加企業の概要 ③

※五十音順

(株)今野鉄工所

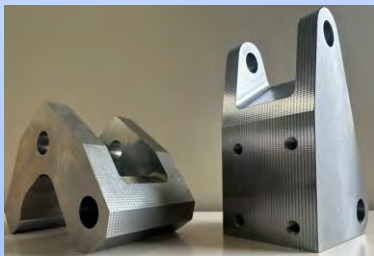
代表者：代表取締役 今野 香澄
所在地：室蘭市港北町1丁目25-33
資本金：1,000万円
従業員：22人
所属クラスター：
・北海道航空宇宙ビジネスネットワーク(HAB)
・室蘭航空宇宙産業ネットワーク(MAS-NET)

【航空宇宙及び関連分野の取組】

航空機ビジネスマッチングを契機に航空機エンジン整備用機材や航空機支援機材等の消耗部品を受注。これまでの実績に加えて、難削材の切削加工技術、溶接技術を活かして、航空機関連部品・治工具の受注を目指す。

【これまでの歩み】

2018年11月 航空機マッチング事業に参加
2019年 3月 山本精機(株)に納入
2020年 2月 堀口エンジニアリング(株)に納入



札幌エレクトロプレイティング工業(株)

代表者：代表取締役 嶋村 清隆
所在地：札幌市西区発寒13条12丁目12-15
資本金：4,800万円
従業員：15人
所属クラスター：
・北海道航空宇宙ビジネスネットワーク(HAB)
・Sapporo Air Craft Suppliers Club(SACSuC)

【航空宇宙及び関連分野の取組】

めっき等の表面処理技術を活かし航空機部品・治工具の受注を目指す

【これまでの歩み】

2016年1月 セミナー等で情報収集開始
2019年8月 道内企業と航空機クラスター(SACSuC)を立上げ
2023年3月 アロジン処理設備を導入



(株)ディ・ビー・シー・システム研究所

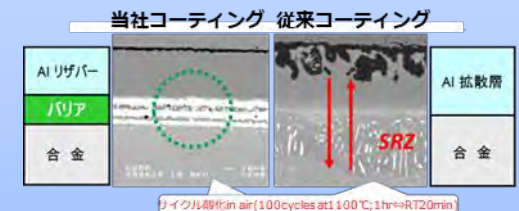
代表者：代表取締役 成田 敏夫
所在地：小樽市銭函3丁目515-1
資本金：100万円
従業員：3人
所属クラスター：
・北海道航空宇宙ビジネスネットワーク(HAB)

【航空宇宙及び関連分野の取組】

金属材料にコーティングをすることで、高温酸化や腐食などに強い部材へと加工する革新的な表面処理技術を持ち、JAXAなどと共同研究の実績がある。航空機用ジェットエンジンやロケットエンジン、人工衛星のスラスターエンジンへの適用を想定し、受注を目指す。

【これまでの歩み】

2016年10月 航空機展示会(JA2016)出展
2018年11月 航空機展示会(JA2018)出展
2020年11月 航空機展示会(ロボット航空宇宙フェスタふくしま)出展



参加企業の概要 ④

※五十音順

(株)西野製作所

代表者：代表取締役 西野 義人

所在地：室蘭市中島本町1丁目11-6

資本金：1,000万円

従業員：45人

所属クラスター：

- ・北海道航空宇宙ビジネスネットワーク(HAB)
- ・室蘭航空宇宙産業ネットワーク(MAS-NET)

【航空宇宙及び関連分野の取組】

機械部品の再生処理技術、特に溶射等の表面処理技術や防衛分野の実績を活かして、航空機関連部品・治工具の受注を目指す。

【これまでの歩み】

2021年 4月 MAS-NETに加入

2021年10月 エアロマート名古屋(商談会)参加

2022年10月 エンジンフォーラム神戸(商談会)参加



(株)ミヤタ技研工業

代表者：代表取締役 宮田 豪

所在地：室蘭市崎守町387-39

資本金：300万円

従業員：14人

所属クラスター：

- ・北海道航空宇宙ビジネスネットワーク(HAB)
- ・室蘭航空宇宙産業ネットワーク(MAS-NET)

【航空宇宙及び関連分野の取組】

長物旋盤加工技術や難削材の切削加工技術、防衛分野の実績を活かして、航空機関連部品・治工具の受注を目指す。

【これまでの歩み】

2018年11月 航空機マッチング事業に参加

2020年 2月 関連機器の部品を納入

2020年 3月 市内企業とMAS-NETを設立



(株)メデック

代表者：代表取締役 漆寄 照政

所在地：函館市鈴蘭丘3-133

資本金：2,310万円

従業員：225人

所属クラスター：

【航空宇宙及び関連分野の取組】

自動機製作・機械加工・機器販売を手掛ける総合エンジニアリング会社として、半導体をはじめ様々な分野に貢献した実績を活かして、航空機関連分野の省力化投資関連の受注を目指す。

【これまでの歩み】

2021年9月 航空機マッチング事業に参加



(参考) 北海道内の航空機クラスター

※五十音順

北海道航空宇宙ビジネスネットワーク

(Hokkaido Aerospace Business Network (略称: HAB))

【事務局】 (一社) 北海道機械工業会

【参画企業】 28社

- | | | |
|----------------------|---------------------|--------------------|
| ・(株)池田熱処理工業 | ・いすゞエンジン製造北海道(株) | ・インターステラテクノロジズ(株) |
| ・エスイーシー・シープレックス(株) | ・(株)キメラ | ・(株)釧路製作所 |
| ・寿産業(株) | ・五嶋金属工業(株) | ・(株)今野鉄工所 |
| ・札幌エレクトロプレイティング工業(株) | ・札幌ボデー工業(株) | ・サンテクノ(株)函館R&Dセンター |
| ・島本鉄工(株) | ・シンセメック(株) | ・第一金属(株) |
| ・(株)中央ネームプレート製作所 | ・(株)ディ・ビー・シーシステム研究所 | ・トルク精密工業(株) |
| ・(株)永澤機械 | ・(株)西野製作所 | ・(株)日本製鋼所 |
| ・日本電波工業(株) | ・(有)馬場機械製作所 | ・(株)北海道ゴム工業所 |
| ・ホクダイ(株) | ・(株)松本鐵工所 | ・(株)ミヤタ技研工業 |
| ・(株)ワールド山内 | | |

Sapporo Air Craft Suppliers Club

(略称: SACSuC)

【参画企業】 3社

- ・(株)池田熱処理工業
- ・札幌エレクトロプレイティング工業(株)
- ・(株)ワールド山内

室蘭航空宇宙産業ネットワーク

(Muroran AeroSpace industrial Network (略称: MAS-NET))

【事務局】 (公財) 室蘭テクノセンター

【参画企業】 5社

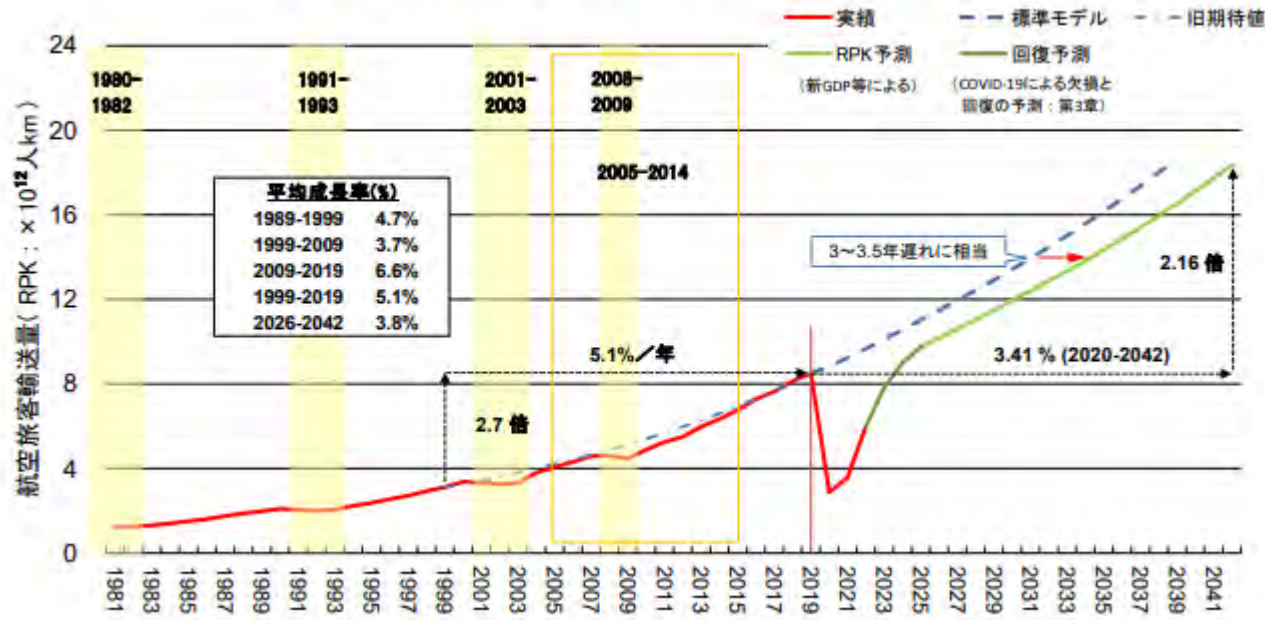
- | | |
|-------------|-----------|
| ・(株)キメラ | ・(株)今野鉄工所 |
| ・(株)永澤機械 | ・(株)西野製作所 |
| ・(株)ミヤタ技研工業 | |

参考資料

世界の民間航空機市場

- 世界の航空旅客需要は、一時はコロナで落ち込んだものの、2024年には2019年の水準を超え、その後も年率3~4%で増加していく見込み。
- 民間航空機市場は、旅客需要増を背景に拡大の見込み。ジェット旅客機の需要予測では、2022年の約2.5万機から2042年には4万機に増加するとみられており、そのうち1.5万機は今後の旅客需要増に対応するための新規需要。また、ジェット機の納入機数は2020年以降、回復傾向。

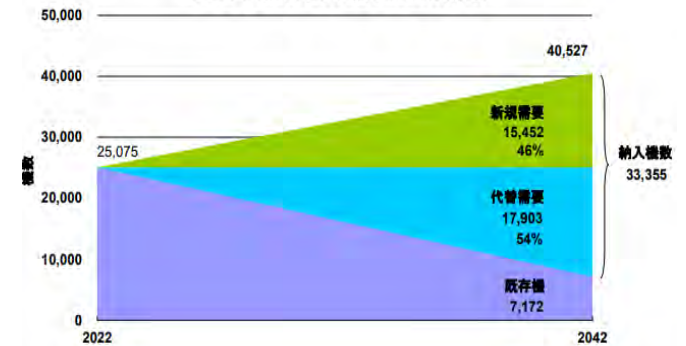
世界の航空旅客輸送量 (RPK) の推移



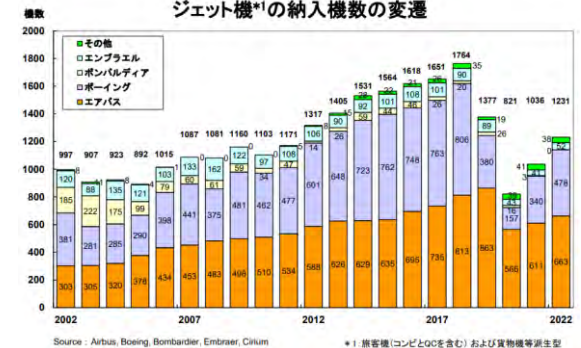
Source : IATA, ICAO, JADC

* 網掛け部分は、航空不況等を示す。橙色の枠は原油価格の高騰期を示す。

ジェット旅客機の需要予測結果



ジェット機*1の納入機数の変遷



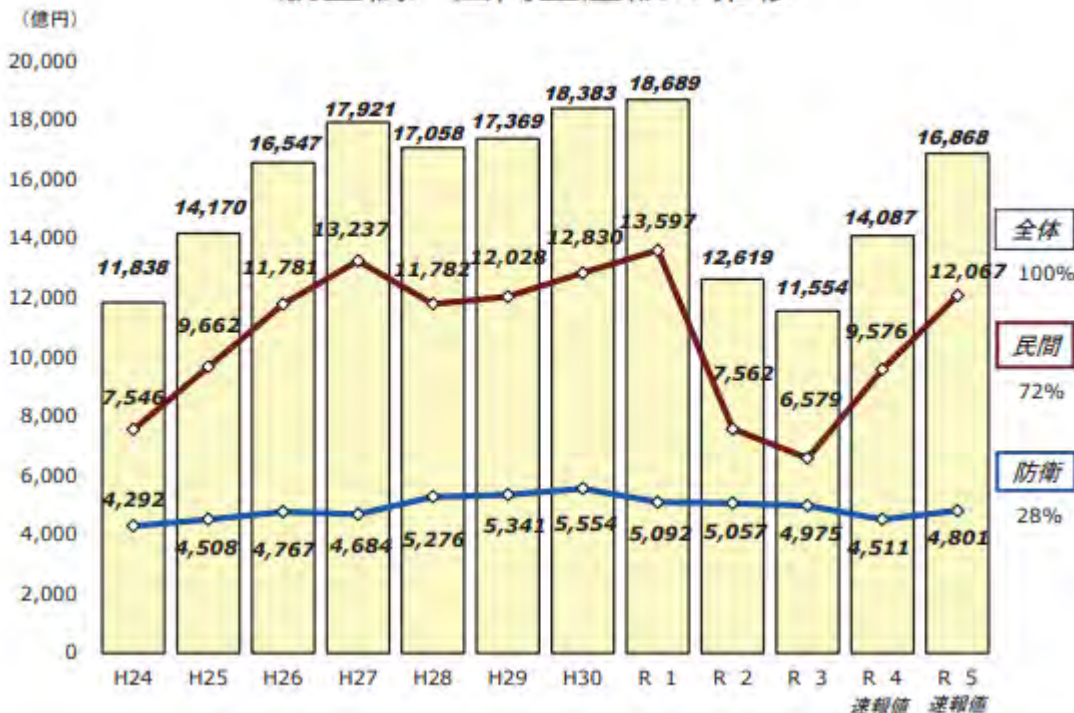
受注残 (2022年末) 14,802機 (前年+742機)

(出典) 日本航空機開発協会 (民間航空機に関する市場予測2023-2042)

国内の航空機市場

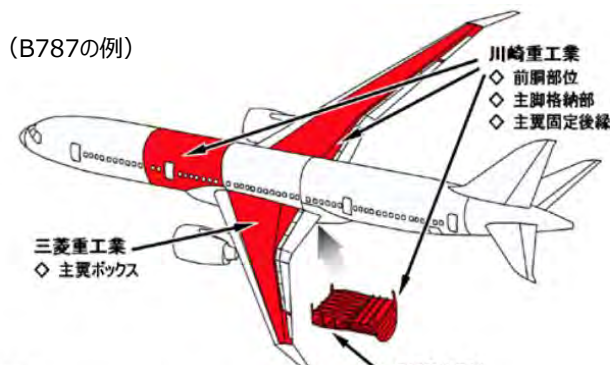
- 国内の航空機生産額は約1.7兆円（コロナ前は1.9兆円）。令和4年度以降、生産額は回復傾向。特にエンジン分野が顕著。
- 航空機の構造は、機体・エンジン・機器(装備品)に分けられ、日本では機体・エンジンが9割を占める。

航空機／国内生産額の推移



(出典) 日本航空宇宙工業会（会報「航空と宇宙」2024年6月号ほか）

機体 (B787の例)



機器

- (部品供給企業)
- ◇ ジーエス・ユアサノ(仏)タレス (リチウムイオン電池システム)
 - ◇ 関東航空計器 (リチウムイオンバッテリー監視装置)
 - ◇ ジャムコ (ラバリー、ギャレー、操縦室ドア及び周辺隔壁、操縦室内装パネル及び収納ボックス等)
 - ◇ 住友精密工業 (APU オイルクーラー)
 - ◇ 多摩川精機 (角度検出センサー、小型 DC ブラシレスモーター等)
 - ◇ 東レ (TORAYCA® プリプレグ複合材)
 - ◇ ナブテスコ(米)UTC エアロスペース システムズ (配電装置)
 - ◇ パナソニック アビオニクス (客室サービスシステム、機内娛樂装置)
 - ◇ プリチストン (タイヤ)
 - ◇ 島津製作所 (水平安定板作動アクチュエータ)
 - ◇ KYB (主脚作動用機器、テールスキッド・アクチュエータ、前脚固定用アクチュエータ、前脚及び前脚原非常時作動用アクチュエータ等)
 - ◇ 日機装(米)スピリット (主翼前縁部の複合材部品(J-Panel))

エンジン TRENT1000 (Rolls-Royce)



Image Source : Rolls-Royce
(日本参加企業と担当部位)
◇ 川崎重工業
中圧圧縮機モジュール
◇ 三菱重工業
燃焼器モジュール、低圧タービンブレード

GE9x (General Electric)



Image Source : General Electric
(日本参加企業と担当部位)
◇ IHI
低圧タービン、高圧圧縮機部品、低圧タービンシャフト
◇ 三菱重工業
燃焼器ケース

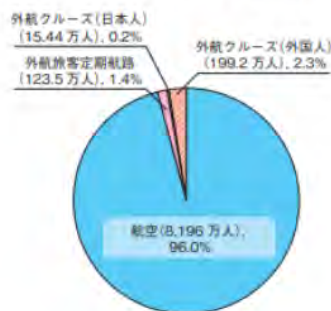
我が国における航空機産業の重要性（産業構造審議会・航空機宇宙産業小委員会）

- 航空機は国際的な物流・移動手段の要。我が国も国際旅客輸送の96%は航空輸送に依存しているとともに、付加価値が高い重要貨物は航空輸送が大きな割合を占めており、**国民経済が依拠する重要な産業**。
- また、航空機の部品点数は300万点にも及び**中小を含めて幅広いサプライチェーンで支える構造となっており、波及効果の大きい産業**。加えて、そのサプライチェーンは民間航空機のみならず防衛産業においても重要な役割を担っており、安全保障上も重要。

航空輸送の重要性

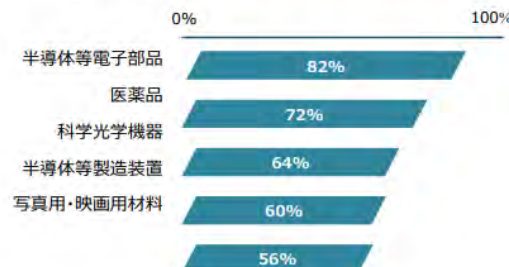
- ◆ グローバルな経済活動の根幹である我が国の国際旅客輸送の96%は航空機。
- ◆ 航空機は、少量高付加価値なもの、時間管理・品質管理（湿度や振動等）が厳しいものの輸送に適しており、半導体・電子部品、医薬品などの重要貨物は航空輸送に依存。
- ◆ コロナ禍においては、ワクチン、マスクなどの医療関係貨物の緊急輸送が航空輸送に集中し輸送費が高騰するなど、航空貨物輸送の重要性が改めて確認された。

我が国の国際旅客輸送量・比率



出典：令和4年度交通政策白書

我が国の国際貿易における航空輸送の比率
(金額ベース)



出典：通商白書2020をもとに経済産業省作成

我が国における航空機産業の重要性

- ◆ 航空機の部品点数は300万点*にも及び、サプライチェーンへの波及効果が高い。実際に我が国においても中小サプライヤー含めて多くの企業が参画している。
- ◆ 航空機生産には、個別に厳格な安全認証が存在し、代替には大きなコストと数年単位の時間を要する。その一部でも欠けると、新規航空機の生産、既存航空機の安全運航にも支障をきたす。そうした観点から、我が国航空機産業はグローバルな航空機生産を支えている。
- ◆ また、民間航空機のサプライチェーンは、我が国防衛産業においても重要な役割を担っており、安全保障上の重要性も高い。

*出典：中村 洋明「新・航空機産業のすべて」(2021)



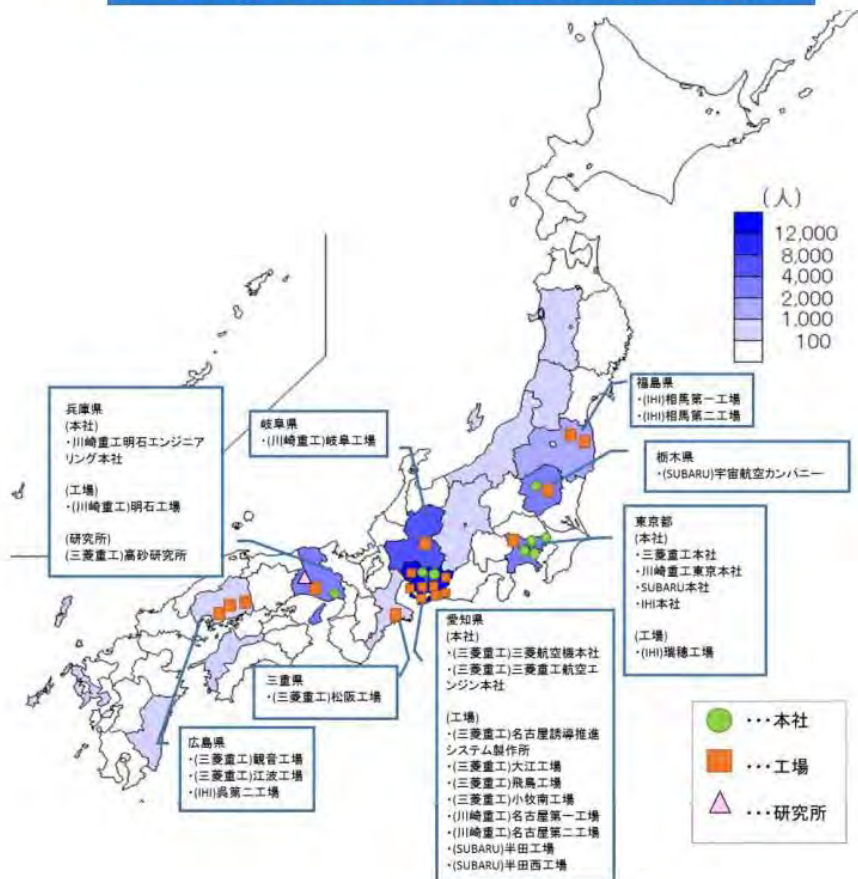
▲本邦の航空機・エンジンのサプライヤー構造概念図

出典：日本政策投資銀行「本邦航空機産業の過去・現在・未来」
(2016年7月)をもとに経済産業省作成

国内の航空機産業

- 地域別にみると、大手メーカー等が集積する 中部・関東・近畿地域に、航空機産業が集積している。
- JISQ9100の登録件数は、2017年の682件から、2023年6月時点で731件に増加。地域別では、関東、中部、近畿の3地域で、全体の約9割を占める。

都道府県別従業員数と重工メーカー（関連会社含む）の主要拠点



地域別JISQ9100登録状況（2017年7月現在）

北海道では2017年の1件から、7件に増加！

